

高知県警察

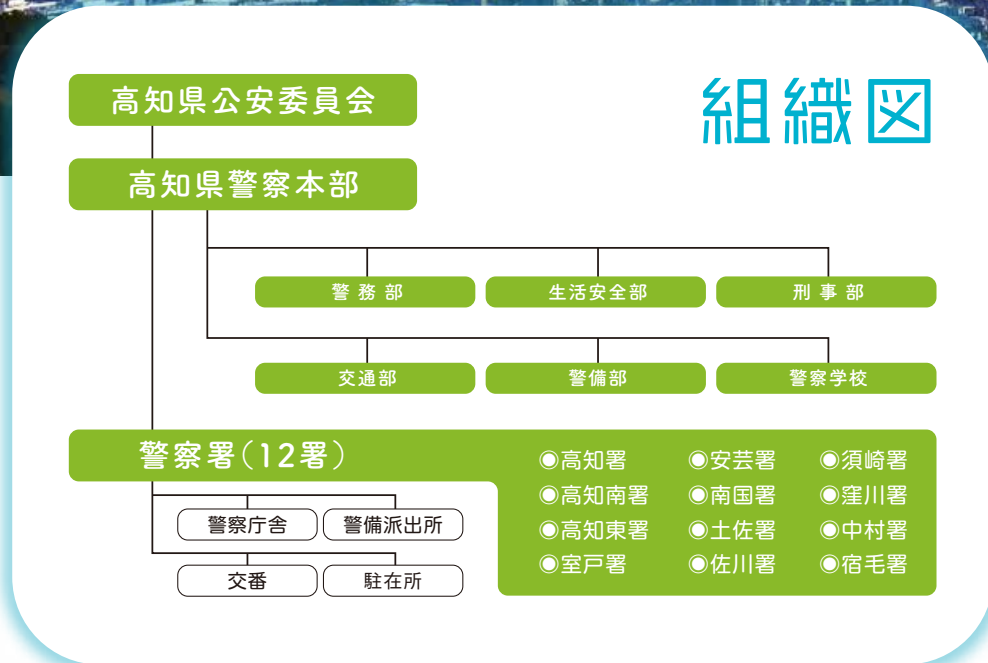
KOCHI PREFECTURAL POLICE



www.police.pref.kochi.lg.jp



高知県警察 組織の仕組み



高知を守る。

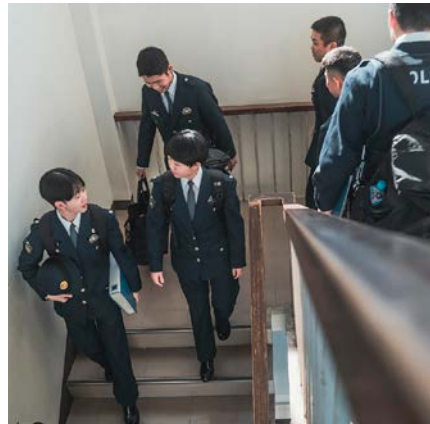
高知県警察は、高知県公安委員会の管理の下に置かれています。警察本部には、「警務」「生活安全」「刑事」「交通」「警備」の5部と警察学校、そして県下には12の警察署があります。これらの警察署には、警察庁舎・交番・警備派出所・駐在所があり、県民の安全と安心を守るため、日夜懸命な警察活動を行っています。

警察学校



心と体を鍛え、仲間との絆を育み 警察官としての心構えと規律を身につける

警察官の第一歩は、警察学校での生活から始まります。警察官として必要な法律や柔道・剣道、逮捕術などを学ぶのはもちろんのこと、チームプレーに必要な連帯感や個々の責任感といった人間性を形成する場でもあります。全寮制の警察学校で過ごす日々は厳しいものですが、共に同じ夢を追いかけ汗を流す仲間との感動や楽しさ、そして達成感を得ることができ、生涯かけがえのない時間となるでしょう。



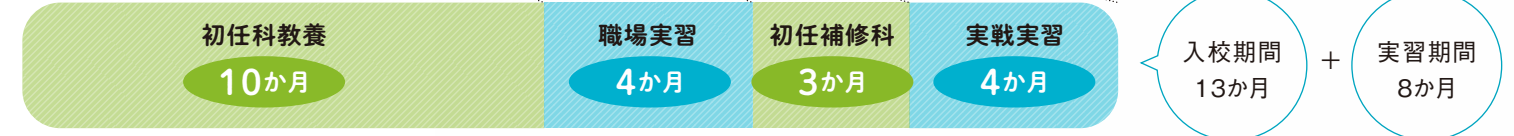
教養期間

警察官A採用者は約15か月、B採用者は約21か月、一般職員採用者は約3週間にわたり、職務に必要な教養や訓練を受けます。

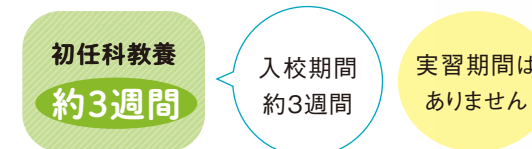
●警察官A(大卒等:短期初任科)



●警察官B(高卒等:初任科)



●一般職員(事務・技術職等)



初任科教養：警察官として必要な知識及び技術を習得します。
 職場実習：初任科で学んだことを警察署で指導警察官のもと実習します。
 初任補修科：職場実習での経験を踏まえ、更に高度な知識・技術を身につけます。
 実戦実習：本格的な実務に向けた単独勤務による実戦実習をします。

授業内容

警察学校の初任科では、一般教養や警察実務・職務遂行に必要な法学など教場における座学のほか、柔道・剣道・逮捕術・救急法など様々な訓練を行います。土日祝日は原則休日となります。

- 一般教養
訓育、職務倫理、国語など
- 法学
憲法、警察行政法、刑法、刑事訴訟法など
- 警察実務
生活安全、地域、刑事、鑑識、交通、警備
- 術科・体育
柔道・剣道(いずれかを選択)、逮捕術、警備実施、拳銃操法、体育、教練
- その他
山岳救助訓練、運転技能訓練、救急法、華道、似顔絵、手話、座禅など



警察学校の1日

堅実な生活態度を養うため、学び、鍛え、同期の友と語り合う。



●タイムスケジュール

- 6:30 [起床] 点呼・体操
- 7:30 [朝食]
- 8:30 [朝礼]
- 8:50 [1限目]
- 10:20 [2限目]
- 11:40 [昼食休憩]
- 12:40 [3限目]
- 14:10 [4限目]
- 15:40 [5限目]
- 17:00 [夕食・入浴・自習]
- 21:30 [点呼]
- 22:30 [消灯・就寝]

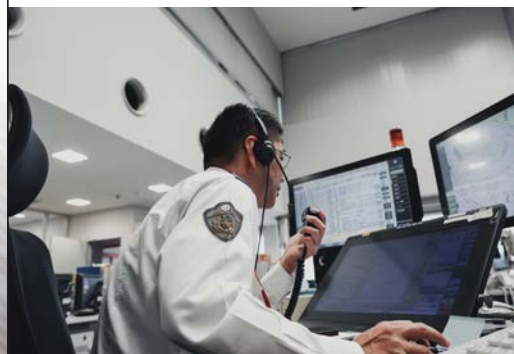
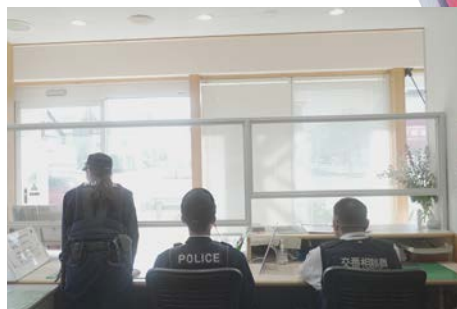


地域部門 / 生活安全部



住民の安全と安心を守るため、地域に根ざした活動を通じて犯罪予防に努める

新任の警察官が最初に配属されるのは、日々のパトロールなどを通じて住民の安全安心を担う地域に密着した地域部門です。110番通報の際は現場に真っ先に駆けつけて初動対応を行う「県警の顔」ともいべき存在です。地域の方々と共に日本一住み良いまちづくりを推進します。



交番

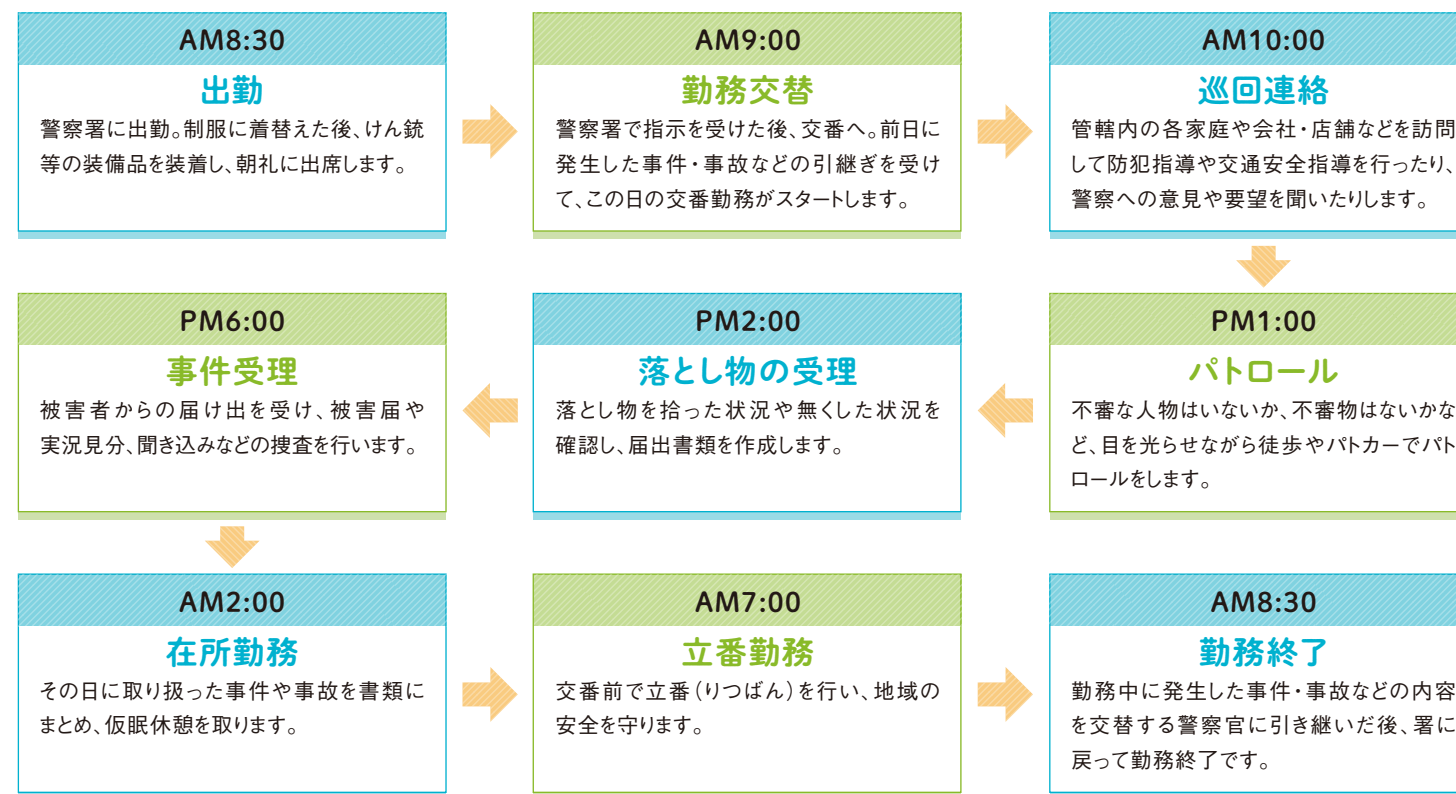
地域を見守る身近な交番

パトロールや巡回連絡、被害届や拾得物の受理など、地域の安全安心を守っています。



新人警察官のあひだり

配属後、一定期間は経験豊富な先輩警察官がマンツーマンで指導します。頼れる先輩の元で様々な経験を積み、一人前の警察官として成長していきます。



生活安全部



地域の住民が安全・安心に暮らせるまちづくりを支えていくために

県民の身近で発生する犯罪の抑止活動や日常生活を脅かす様々な事案・犯罪に対応する業務です。ストーカー・DV・児童虐待事案の対応や、被害が拡大しているオレオレ詐欺等をはじめとした特殊詐欺事案、インターネットを悪用したサイバー犯罪、売春などの風俗犯罪、不法投棄などの環境犯罪を取り締まります。また、少年の非行や犯罪の未然防止活動を行っています。



サイバー犯罪捜査

スマホやタブレットの利用者が被害者となるサイバー犯罪が急増しています。これを根絶するため捜査を強化するとともに地道な犯罪抑止対策を進めています。

犯罪被害の予防活動

「オレオレ詐欺」や「声かけ事案」などの手口を寸劇化して、ターゲットとなりやすい高齢者や児童への被害防止の呼びかけを行っています。



刑事部



「犯人を絶対に逃がさない」強い気持ちと地道な活動が支える犯罪検挙

殺人や強盗、放火などの凶悪犯罪、悪質・巧妙化する組織犯罪・知能犯罪などに24時間全力で立ち向かい、事件の解決に取り組んでいます。捜査員だけでなく指紋の採取などを担当する鑑識、科学捜査研究員などのスペシャリストが一丸となって捜査に当たります。



取調べ

事件の核心に迫る重要な供述を得るための捜査「取調べ」。捜査員は対話能力を磨くとともに、あらゆるデータ収集を行い臨んでいます。



鑑識・科学捜査

現場に残された指紋やDNAなどの証拠を収集し、最先端技術を駆使して犯罪の証明を行います。



機動捜査

事件発生時には即座に現場に急行します。早期解決のため、常時出勤体制を確保しているほか、冷静な判断と行動で犯人を捕えます。

交通部



日々の啓発や取締りを通して 交通事故ゼロの安全なまちを目指す

交通安全教育や交通違反の取締りをする事で、交通事故のない安全な社会を目指します。
また、交通規制及び交通管制業務のほか運転免許業務を行っています。
交通安全のイベントなどを開催し、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方々とのコミュニケーションを通じて、交通安全の大切さを伝え、交通事故を防止する活動にも力を入れています。



運転技能訓練

ドライバーに注意喚起を促す存在の白バイクや白カーは安全運転の模範。高度な技術習得のため日頃から訓練に取り組んでいます。



交通取締り等

交通事故に直結する飲酒運転や危険運転などの悪質な交通違反の取締りを強力に行っています。



警備部



あらゆる治安事象に対応し、 県民を災害やテロから守る

地震や台風などの自然災害やテロなどの重大突発事案が発生した際にいち早く現場に駆けつけ、人命救助、治安維持に当たります。
機動隊員に求められるのは、強靱な体力と強固な精神力。
様々な現場での対応能力は、日ごろからの厳しい訓練で培われています。
有事の際、その機動力と高い技能が発揮されます。



災害・テロ等への対応

常に現場を想定した訓練を行い、災害発生時における被災者や負傷者の救助、爆発物等への対処に取り組みます。

警務部



円滑な組織運営を目指し、 警察活動を多角的に支えるサポーター

現場で働く警察官が円滑に職務ができるようにサポートし、その活動を常に見つめていく「緑の下の力持ち」的な部門です。人事、採用、人材育成、健康管理、会計、装備資機材の整備・開発といった業務のほか、留置管理や犯罪被害者の支援などを行います。また、警察の業務を県民へ知らせる広報活動にも取り組んでいます。



窓口対応

県内各地の警察署の窓口で、届けられた落とし物の管理返却や地域の方々からの相談への対応を行っています。



音楽隊

「音の架け橋」で県民との心をつなぐ。様々なイベント活動を通じ、交通安全や詐欺被害防止に向けた広報、啓発活動を行っています。



被害者支援

犯罪被害に遭われて不安や悩みを抱えている方や、そのご家族・ご友人の方など様々な方からの相談に対応しています。

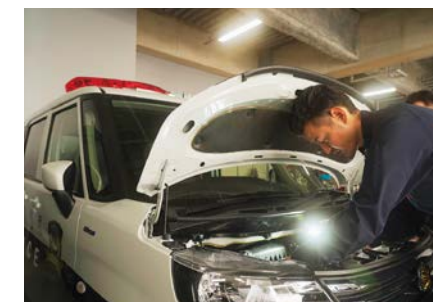
一般職員

誇りと使命感を 胸に携え、 組織運営を土台から 担い支える

一般職員の業務は、窓口業務(落とし物の受理・返却など)、物品調達、施設整備や予算管理をはじめ、情報システムの開発運用など専門性の高いものまで多岐にわたります。警察官と協力しながら住民の安全安心を担っています。



警察職員の活動を強力に支える
警察事務職員

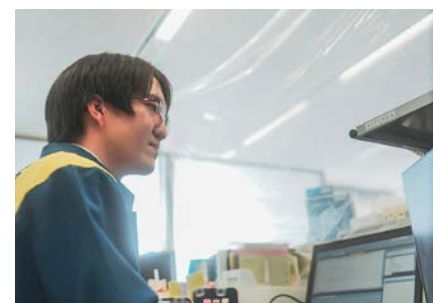


警察車両や装備品整備のスペシャリスト
装備職員



その他の職種

- 少年補導職員
- 建築士
- 保健師
- 整備士
- 船舶乗務員
- など



警察組織のIT環境を支える
情報処理職員



客観的証拠の検出など科学の力で捜査を力強く援護する
科学捜査研究員

高校新卒警察官



高校卒業→高知県警察

令和4年採用 巡査

“18歳で警察官になりました”

私は、県内の高校を卒業後、18歳で警察官になりました。進学するか悩んだ時期もありましたが、幼い頃から“将来は困っている人を助ける仕事がしたい”という思いがあったので、高校を卒業して警察官になることを決めました。

現在は交番で勤務しており、先輩警察官の背中を見ながら仕事を覚えている真っ最中ですが、皆様のご家族や会社等を訪問し、ご意見やご要望を伺ったり、身近で発生する犯罪の予防や事故防止に役立つ情報をお知らせする「巡回連絡」の活動では、地域の方々から「ありがとうございます」などの言葉をいただくこともあり、警察官になって良かったと感じます。

プライベートでは、最近車を買って、休日には愛車で趣味の釣りに出かけています。また、今年20歳になりましたので、将来のために貯金も始めました。



Uターン



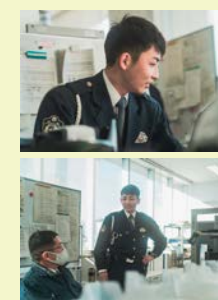
県外(進学)→高知県警察

令和2年採用 巡査長

“誰かのためになる仕事がしたい。そんな思いで”

県外の大学に進学しましたが、進学当初はどこで就職するか、どのような職業に就くかなど、将来のことについては決めていませんでした。

就職先を考えるに当たり、住み慣れた高知県には家族のほか、気心の知れた友人もたくさんいましたし、一度県外に出たことで高知県の魅力にも改めて気付くことができました。また「人のためになる仕事がしたい」という思いや、警察官への憧れもありましたので、高知県に帰り、警察官になることを決意しました。今では「私を育ててくれた高知県がいつも安心して暮らせる町であるように」との思いが仕事の活力となっています。県民の方々から感謝の言葉をかけてもらう機会も多く、その度にやりがいを感じています。「自分以外の誰かのために仕事がしたい」そんな思いを持った方にとても合う職業だと思います。



Iターン



県外出身→高知県警察

令和4年採用 巡査

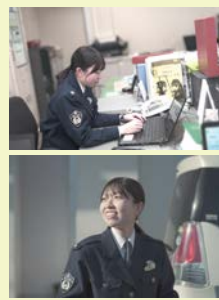
“高知県の大学へ進学し、高知県で警察官に”

私は香川県の出身で、高知県内の大学を卒業後、高知県で警察官になりました。

高知県には幼い頃から家族旅行などで何度も訪れたことがあり、以前から親しみはありましたが、大学の4年間を高知で過ごしたことで、フレンドリーな県民性や自然豊かな風土がますます好きになり、高知県で働くことを決めました。

現在は地域課の警察官として巡回連絡やパトロール活動を通じて県民の方々の声に耳を傾け、日々の業務と向き合っています。

高知県の自然や食べ物、県民性などへの愛着(高知愛)は深まる一方で、高知県で就職してよかったと思っています。



Iターン



県外出身→高知県警察

平成31年採用 巡査長

“温かさを感じた高知県。役に立って恩返しをしたい”

出身は広島県で、高校を卒業した後は警察官になるために公務員の予備校に通いました。その予備校時代に、先生から勧められて参加したお祭りのボランティアで初めて高知県を訪れたのですが、県外人で1日だけの参加という私をとても歓迎してくれて、警察官になることも応援してくれるなど、温かい県民性を感じました。こんな地域の人たちの安全を守る警察官として役に立ちたい、そう思って高知県警察を志望しました。地域課の警察官として巡回し、住民の方からの質問や要望に応じていく中で、「ありがとう」と声をかけられた時は、やっぱり嬉しくなりますし、やりがいを感じます。警察官になって本当によかったと思いますし、これからもこの町で働きかけを作ってくれた高知の方々の役に立って、恩返しをしたいと思っています。



転職



市役所職員→高知県警察

令和4年採用 巡査

“警察官の仕事に魅力を感じて”

以前は市役所で働いていましたが、身内の警察官から話を聞く中で、仕事の幅が、刑事・交通・生活安全・警備等多岐にわたるほか、県内の色々な場所で勤務できること、また、自分の努力次第で昇任できる点などに魅力を感じるようになり、転職を決意しました。

現在は、警察署の地域課で勤務し、受け持ち地域のパトロールや事件・事故などへの対応をしていますが、地域の方とより身近に接する仕事でもあり、やりがいを感じます。

警察官の仕事は法律を根拠としているので、関係法令の勉強など、日々の研鑽は欠かせませんが、その分、向上心を維持できたり、何よりも事案解決に関わるたびに充実感や喜び、面白さを感じることができるので、この仕事を選んで良かったと思っています。



転職



民間企業→高知県警察

令和2年採用 巡査長

“自分の手で犯人を。被害に遭う人を減らしたい”

大学を卒業後、銀行で働いていました。中堅として徐々に仕事をしていた時、職場で高齢女性がお金をだまし取られるという特殊詐欺事件が起きました。悲しんでいる高齢女性の姿を目の当たりにして、何もできなかった自分の無力さを痛感し、「自分の手で犯人を捕まえたい、被害に遭う人を少しでも減らしたい」という思いが強くなり、転職を決意しました。

現在は希望していた刑事課に配属され、日々経験したことのないような状況に悪戦苦闘してはいますが、実際に犯人を逮捕できた時は自分も事件解決の一端を担えたのだと実感することができ、やりがいを感じています。

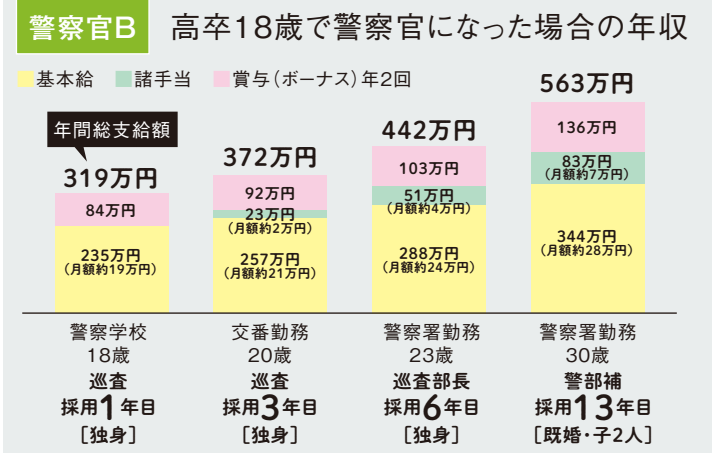
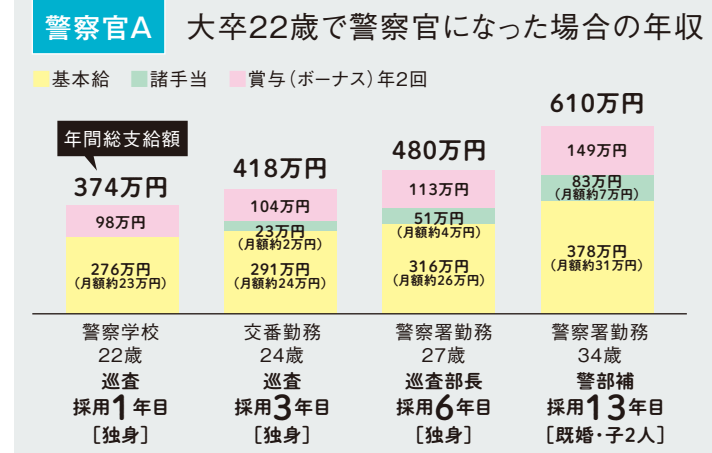
警察官は決して楽な仕事ではありませんが、私の大切な家族や友人を含め、県民の安全安心を守っていると実感できる職業に、勇気を持って転職して良かったと思っています。



給与

	大卒	短大卒等	高卒
警察官	230,200円	209,700円	195,500円
行政職	201,400円	181,800円	168,300円

※採用前に職歴がある場合は、その職歴に応じた加算があります。
 ※諸手当として通勤手当・住居手当・扶養手当・単身赴任手当などがあります。
 ※警察官には勤務に応じて、交通取締や捜査などの特殊勤務手当が支給されます。



勤務

毎日制勤務 8:30～17:15(7時間45分)／土日祝

交替制勤務 8:30～翌日8:30／当直・非番・公休のローテーション

※どちらの勤務も1週間あたり38時間45分勤務です。
 ※警察学校卒業後の警察署地域課での勤務は交替制勤務です。

交替制勤務(三交替制一週間の流れ)

月	火	水	木	金	土	日
当直	非番	公休	当直	非番	公休	当直
勤務	休み	勤務	休み	勤務	休み	勤務



勤務待遇



子育て支援制度

男性職員の
育児休業取得率 令和4年度 **47.7%**

●産前・産後休暇

- 産前休暇：出産予定日の8週間前から取得できます。
- 産後休暇：出産の翌日から8週間取得できます。

●育児休業

子どもが3歳になるまで、取得することができます。

●部分休業

子どもが小学校に入学するまで、1日の勤務時間のうち部分的に休業を取得することができます。

●育児短時間勤務

子どもが小学校に入学するまで、育児短時間勤務制度を利用することができます。

●早出・遅出出勤、深夜・時間外勤務の制度

子どもが小学校に入学するまで、深夜勤務(当直)や時間外勤務の免除を受けることができます。

休暇

[年次有給休暇]

20日
(繰越含め最大40日)

年次有給休暇の
平均取得日数

令和3年／12.8日
令和4年／13.7日
令和5年／14.6日

休暇は、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇などがあります。夏季(7月～9月)休暇や結婚休暇と年次有給休暇を合わせて取得し、長期滞在の旅行に行くこともできます。

また、配偶者の出産時には、配偶者の出産休暇と男性の育児参加休暇を合わせて取得することもできます。

特別休暇

- 結婚休暇
- 産前・産後休暇
- 配偶者の出産休暇
- 男性の育児参加休暇
- 看護休暇
- 短期介護休暇
- 夏季休暇
- 永年勤続休暇



昇任試験制度

階級	巡查	巡查部長	警部補	警部	警視	警視正
職名	係員	主任	係長	本部の課長補佐、 警察署の課長	本部の課長、 警察署の署長・副署長	本部の部長、 大規模警察署の署長
昇任試験資格	-	採用後 大学卒1.5年 短大卒3年 高卒4年 以上	巡查部長在級 大学卒2年 短大卒3年 高卒4年 以上	警部補在級 4年以上	選考	選考

採用試験の概要

※採用試験についての詳細は、高知県警察本部警務部組織基盤強化センター警務課採用係、または最寄りの警察署・交番・駐在所までお気軽にお尋ねください。

試験区分

警察官A 男性・女性

採用時の年齢が34歳以下で、学校教育法による4年制大学等卒業した方又は卒業見込みの方

警察官B 男性・女性

採用時の年齢が18歳以上34歳以下で警察官A区分以外の方

試験種目

第一次試験

教養試験
論文試験
適性検査

第二次試験

※体力試験 身体精密検査
身体検査 口述試験

※体力試験

- 反復横跳び
- 腕立て伏せ
- 上体起こし
- 立ち幅跳び

福利厚生

警察の仕事は、実際に働く警察官・一般職員及びその家族が心身ともに健康でなければ成り立ちません。そのため高知県警察では、警察官・一般職員がより力を発揮できるように、福利厚生制度の充実にも力を入れています。

職員官舎の整備

県内各所に世帯用・独身用の警察職員宿舎が整備されています。また、民間の賃貸アパートに住む場合には家賃に応じた補助も支給されます。



給付・貸付制度

結婚祝金、出産祝金等、人生の節目において祝金が給付されたり、マイカーやマイホームの購入資金に関する貸付けでは、低金利でローンを組むことができます。

充実した相談制度

私生活の悩みは所属で指定された相談員に相談することができます。また、部外相談員（弁護士・税理士・カウンセラー）に相談する制度も整っています。

健康管理

職員の心身の健康の保持増進のため、充実した内容の健康診断、産業医や保健師による健康相談、メンタルヘルスセミナーや健康づくりセミナー等を行っています。



保険・共済事業

職員や家族を対象とした生命保険・医療保険・傷害保険・火災共済・任意自動車保険等の職域保険があり、全国警察職員のスケールメリットをいかした格安の保険を提供しています。また、とても利率の良い有利な貯蓄制度も複数ありますので、将来に備えることができます。節目の年には、ファイナンシャルプランナーの講座を受講し、生涯設計を見直すこともできます。

医療費

警察官・警察事務職員に採用されると、警察共済組合から組合員証（保険証）が交付され、けが・病気の医療費について給付を受けられます。



日常のサポート

職員が心身ともにリフレッシュを図れるように、宿泊施設やレジャー施設、スポーツクラブなどを割引料金で利用できます。



Q & A



Q どうすれば警察官になれますか？

A 警察官になるためには、警察官採用試験に合格する必要があります。採用試験は教養試験や体力試験、面接などがあります。詳しくは、採用係0120-032-376（おまわりさんに、さあならう）までお問い合わせ下さい。

Q 体力に自信がありませんが大丈夫でしょうか？

A 皆、はじめは不安に思いますが、警察学校で訓練しながら少しずつ必要な体力を身につけていくので、体力に自信のない方でも心配ありません。入校前から体力作りに取り組んでおくとう不安も解消されるはずです。

Q 柔道か剣道をやっていないと警察官になれない？

A 未経験者でも大丈夫。警察官は、警察学校で柔道・剣道のどちらかを選択して訓練を受けることとなりますが、ほとんどの人が未経験者です。また、専門の教官が基礎から指導するので、未経験者であってもまったく心配ありません。

Q 警察学校は厳しい？ やっていきけるか不安

A 警察学校では、勉強や訓練のほか、規律を守り、規則正しく生活することも求められますが、環境にも慣れていく中で、不安は解消されていきます。なお、高知県警察では、そうした皆さんの不安の軽減にもつながるように、警察学校での訓練を見学したり、体験できるイベントも開催しています。



←イベント情報はこちら

Q 警察学校ではどんな勉強をしますか？

A 幅広い分野の基礎知識や専門的な技能を身につける勉強をします。具体的には、憲法や刑法などの法学や警察官の仕事をする上で必要な実務知識、そのほか一般教養や柔道、剣道、逮捕術、運転訓練など様々な訓練を行います。

Q 警察学校を卒業した後の配属先は？

A 卒業後は、高知県下12警察署のいずれかに配属され、最初は地域課で制服警察官として勤務します。勤務地や職種に関しては毎年希望調査を行い、本人の希望や能力などに応じて適切な配属先を決定します。

Q 警察署に配属されたら、住む場所は？

A 高知県内各地に世帯用や独身用の官舎があります。世帯用には3LDKマンション、独身用にはワンルームマンションなどがありますので、住む場所は心配ありません。配属先の一定範囲内であれば、自宅から通勤することも可能です。

Q 学生時代に学んだ外国語を活かすことはできる？

A 高知県内でも、外国人の事件や事故が増加しているため、外国語を活用する機会は非常に多く、様々な部門でそのスキルを発揮できます。またグローバル社会に対応できるよう、様々な語学研修を行っています。